

よりやさしく 便利な鉄道を目指して

▶ お客さまにやさしい駅

けいはんインフォステーション

京阪線の主要駅に「けいはんインフォステーション」を設置しています。列車ダイヤ、運賃、お忘れ物や駅周辺のご案内など、さまざまなお問い合わせにお答えしています。



けいはんインフォステーション

コンシェルジュ

京阪線では、全駅係員を「コンシェルジュ」と位置づけ、電車や駅に不慣れなお客さまや身体の不自由なお客さまのお手伝いなど、すべてのお客さまに駅を快適にご利用いただけるよう、きめ細かなご案内に努めています。また、接客レベル向上のため、CS研修を実施しています。



コンシェルジュ

ヒューマンサポート研修

京阪線では、障がいのあるお客さまも快適に駅をご利用いただけるように、新入社員を対象にヒューマンサポート研修を実施しています。車いす、アイマスクなどを用いた実習を通じて、身体の不自由なお客さまが駅をご利用される際に感じる不自由さを知り、より良いサービスを提供できるよう努めることを目的としています。



ヒューマンサポート研修

心のバリアフリーへの取り組み

「コミュニケーションボード“心のやりとり”」を京阪線全駅および大津線主要駅に設置しています。障がいのあるお客さまや外国人のお客さまと円滑なコミュニケーションを図ることを目的としたツールで、ボードに描かれたイラストを指で示すことで意思表示をしていただくことができます。また、京阪線全駅のホームにおけるエレベーター（EV）・エスカレーター（ES）の位置を示した「位置ちゃん」を、京阪線の各駅でのご案内に使用しています。これは、駅ごとのEV・ESおよび車両編成数・列車種別ごとの停車位置を図示した一覧表で、年配のお客さまや身体の不自由なお客さまからの「何両目に乗車すれば、降車駅のEV・ESに近いのか?」といったご質問に対し、「〇〇駅で降車さ

れるのであれば、△両目にご乗車ください」とスムーズにご案内するためのツールです。



「位置ちゃん」

コミュニケーションボード
"心のやりとり"

タブレット端末による通訳サービスの活用

日本語でのコミュニケーションが難しい外国人のお客さまへのご案内に、タブレット端末を活用した通訳サービスを京阪線の一部の駅で導入しています。お忘れ物検索や企画乗車券の詳細説明など、外国語による複雑な説明が必要となるご質問やご要望への対応に活用しており、今後も外国人のお客さまに配慮した環境づくりを目指します。



タブレット端末による通訳サービス

▶ AEDの設置

お客さまの救命率向上のため、主要駅にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。

また、駅係員が研修会などで心肺蘇生術を体験したり、新入社員を中心に普通救命講習を受講しています。これまでに数件の心肺停止したお客さまの蘇生に貢献しました。



AED



普通救命講習

▶ Webサイトでの延着証明書の閲覧・印刷

お客さまの利便性向上のため、平成27年3月より京阪線で5分以上の列車遅延が発生した際、京阪電車Webサイトで延着証明書を掲載しています。これにより、延着証明書をWebサイトから閲覧・印刷できるようになりました（各駅で発行しているものとは異なります）。



延着証明書

▶ 乗務員携帯電話携行

当社では乗務員（車掌およびワンマン列車担当運転士）が運行状況確認用の携帯電話を携行しています。これは、当社線や当社線と接続する他社線で遅延や運休といった輸送障害などが発生した場合に、これまでの列車無線による連絡に加えて、最新の状況を乗務員に随時